

要望書

令和7年度補正予算における医療機関の経営支援対策（賃金上昇への対応）についての対策実施、ならびに令和8年度診療報酬改定における十分な改定率の確保を求め、国会議員および県議会議員に対し看護協会と共に要望書を提出いたしました。

要望に際しては、医療機関が直面する経営環境の逼迫状況を説明し、安定的な医療提供体制を維持するための財政措置の必要性について理解を求めました。各議員からは、今後の検討に向け前向きな姿勢が示されました。

本会としては、引き続き地域医療の持続的な運営に向け、関係機関との連携を図りながら必要な働きかけを行ってまいります。



県選出国会議員と



看護支援議員連盟 役員様と

自民党県連青年局・青年部と 県看護連盟青年部懇談会

9月16日（火）、上記懇談会が県庁近くの みくら で開催されました。

県看護連盟の活動や目的、看護師が直面する人手不足や看護職の処遇改善、労働環境の課題について、認定看護師など制度的な課題についても現場の声を届けてきました。

県議会議員と直接意見交換できる貴重な時間を過ごすことができました。今後も栃木県の看護の現状を伝えていくことを継続し、看護の向上に取り組んでいきたいと思います。

青年部支部 支部長 大貫裕平

